

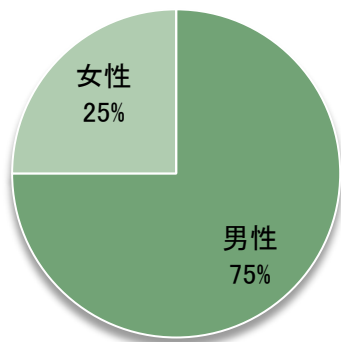
JAXA タウンミーティング in 金沢 開催報告

平成 27 年 11 月 3 日、JAXA タウンミーティング in 金沢「そらに“かがやく” JAXA の航空 & 衛星技術」を開催しました。今回は、JAXA が取り組んでいる航空機の技術開発や人工衛星のさまざまな利用について話題をお伝えし、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

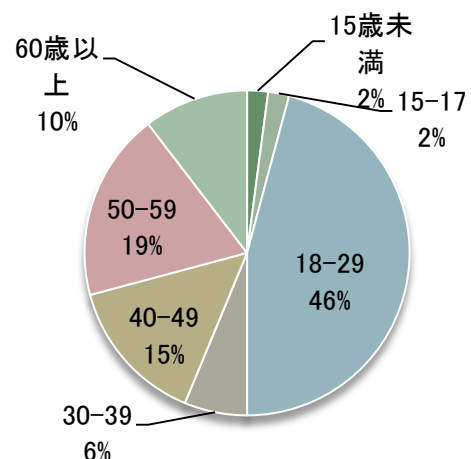
-
- 開催日時 平成 27 年 11 月 3 日（火・祝） 14:00～16:30
- 会場 金沢市教育プラザ・121 研修室
- 参加者数 70 人
- 登壇者
- ・ JAXA 次世代航空イノベーションハブ 副ハブ長 村上 哲
話題：「超音速旅客機の実現に向けて～何が超音速旅客機の実現を阻んでいるのか～」
 - ・ JAXA 第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター 技術領域リーダー 伊藤 徳政
話題：「人工衛星を身近に感じる」
- 進行コーディネーター
JAXA 広報部 部長 上垣内 茂樹
-

アンケート回答者の属性（有効回答数：48）

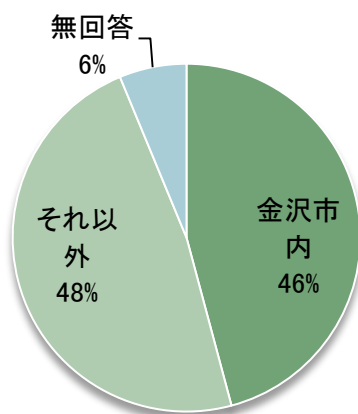
1. 性別



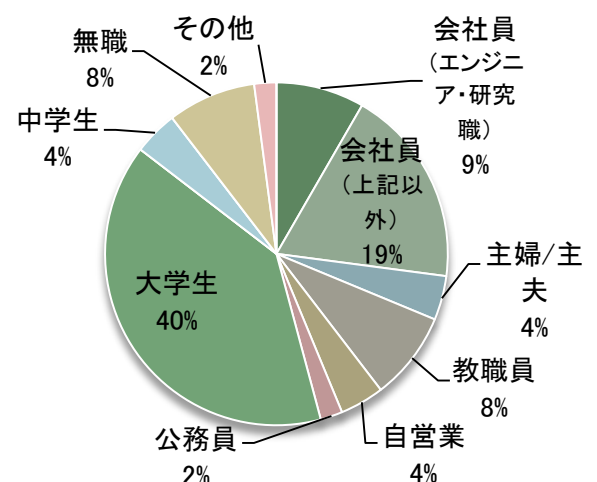
2. 年齢



3. 居住地



4. 職業



主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

■今回のタウンミーティングの話題に関連して

◇「超音速旅客機の実現に向けて～何が超音速旅客機の実現を阻んでいるのか～」

- ・ 多頻度運航、全自動運行システムがあれば地方空港が再活用できるのでは。
- ・ 移動の速さに、より価値を見出す提案が必要。
- ・ 炭素繊維複合材料を使用すれば耐熱性からマッハ2以上も現実的ではないか。
- ・ 目標設定について、運賃はできれば現行並みを目標にしてほしい。また、衝撃波は四分の一にできたということだが、これで実用上十分なのか、もっと改善する必要があるのか、達成度としてはどの程度でしょうか。中が狭そうな形状だったので、積載量と両立できると思う。小型化できれば製作費も安くなると思う。

「どんな航空機の技術開発が必要だと思いますか？」

- ・ 経済的に考える必要性もありますが、超音速旅客機の開発に興味を感じました。定員が少なくても速いもの、遅くても定員が多いもの等ニーズにあわせて開発する必要性があると考えます。
- ・ 小型ビジネスジェット
- ・ 安全性の確立と、省スペースでの離着陸の実現
- ・ 低コストによる旅客輸送の為の技術
- ・ 超音速の航空機にも興味があるが、今ある航空機の問題（騒音など）の解決技術も重要だと思う。
- ・ 地方空港でも着陸できる技術（短距離で運用できる音速機等）
- ・ 移動手段以外のプラスα（グラスウォールや画像合成で、空中に浮遊している感覚が体感できる←小5娘の）などの、良い意味での無駄な飛行機技術
- ・ スペースシャトルに替わる低コストの宇宙往復機
- ・ 滑走路のいらない飛行機でかつ高スピード
- ・ 「先行者が独り占め」できる超音速旅客機や新薬開発に利用する衛星等の日本の稼ぎを増やす技術開発が必要と思っています。
- ・ メンテナンスに工数がかからない、安全が用意に保たれる航空機の開発。超音速に関しては技術的な開発は有用だと思うけれど、一般利用としての価値はどうだろうか若干疑問に思うところがある。

◇「人工衛星を身近に感じる」

- ・ 画像が探しにくい、高解像度のものがない。今後教育活動に利用できる高画質の画像データの提供予定はあるか。
- ・ PM2.5や放射能の分布が分かる人工衛星はあるか。海洋中の放射能分布は測定できるか。
- ・ 地球環境を前もって知り早い対策を実施した例を知る機会を増やせば身近になると思う。
- ・ 衛星データはとても価値ある情報が得られていると感じます。多くの人々が、科学的分析

的にデータを用いて考えたり、その情報の価値を認められる土壌を培うには、できるだけ安く、できれば無料で、いろいろ遊べる、自分で操作できる形のデータをパッケージにして配信いただけるといいのではないのでしょうか。

「どんな人工衛星が必要だと思いますか？」

- ・ より情報量が多い衛星とデータの新しい利用の仕方の開発が必要だと思います。
- ・ 風を予測できる観測衛星が欲しいです。
- ・ 重力波が観測出来るもの
- ・ 緊急車両の接近、事故が発生した場所を自動車のドライバーへナビ等を使用し伝える事があると便利に思います
- ・ スペースデブリの正確な位置大きさを把握できる人工衛星開発
- ・ 災害に活用できる衛星が必要。また、衛星だけでなく情報公開のシステムの整備も重要になってくると思った。
- ・ 放射能の分布が分かるもの。
- ・ これまでの人工衛星の良いところをもっと伸ばし、一般の人たちにももっと身近に感じられるようなものにしてほしい。
- ・ 子供たちが自分達で観測対象を決め、操作できる教育用汎用人工衛星。
- ・ 娯楽に特化した人工衛星が存在してもいいように思える。
- ・ 測位目的の準天頂衛星の早期フルラインアップ化を希望。学術目的の探査機の開発も支持したい。
- ・ JAXA が直接開発するとは限らないが、技術的サポートとか基準の制定等により、開発環境を整備したらよいと思う。

■タウンミーティング、その他について

- ・ とにかく民間の関心があまり高くないので、今のままでは人材も予算も限られ、技術の進歩も進まないかと思います。
- ・ 将来分野への投資として、実用面以外のフロンティアにも取り組んでほしい。
- ・ 航空宇宙分野の研究開発資産の継承を第一に、国民のさらなる理解や予算増額に向けて研究開発の成果を示せるよう励んでほしい。
- ・ テーマを単一に絞ってより濃密なご講演、質疑応答を行っていただければより良かった。
- ・ 子ども向けではない宇宙イベントは新鮮でした。毎年やって欲しい。
- ・ 話題提供の数を二つに絞られており適切なボリュームでした。
- ・ 科学技術コミュニケーションとして重要。大学、高専、高校でも開催してほしい。
- ・ Web サイトを使った意見の投稿は非常に便利だと思います。
- ・ 専門家と直接お話しできる良い催しだと思う。航空、宇宙に興味がある参加者が多いように思ったが、今回のようなテーマなら経済や行政分野（文系の人）からの参加がもっとあっていいと思う。
- ・ 寄付行為ですが、ふるさと納税制度のようにプレミアム付きにならないか検討を！例えばロケット発射時に一番前で見学等。

